

マダニ被害に遭わないために！



1. マダニって何

マダニ(写真1)は、体長が成ダニで3mmから6mm程度あり、室内のダニ(0.3~1.0mm程度)と比べるとかなり大きいダニ類です。生息場所は、山林、裏庭、あぜ道、畑等の草の上で、動物が来るのをじっと待っています(写真2)。通常は野生動物に寄生して吸血しますが、マダニの生息地に人が侵入することにより、人が吸血されることがあります。病原体を持っているマダニに吸血されると、マダニ媒介感染症(日本紅斑熱・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)など)に罹患することがあります。



写真1



写真2

2. 千葉県のマダニ生息状況

マダニは千葉県内の広い地域で生息しています。特に野生動物が多く生息する、房総半島南部の山間地域で多くのマダニが採集されています。採集時期は種類により異なり、春から夏にかけて多くのマダニが採集されますが、1年を通してマダニは採集されます。また、マダニが多く採集される千葉県南部地域では、春から秋にかけて日本紅斑熱患者が毎年確認されており、関東地域ではまれな流行地となっています。



3. マダニによる被害

マダニは、動物に取り付くと口下片というノコギリ様の口を皮膚に差し込み、ゆっくりと吸血を行います。吸血時間は長く(種によっては1週間以上)、吸血に時間をかけゆっくりとマダニの体が血液で膨らんでいきます。そして、マダニは満腹になると自然に吸血していた動物から離れます。吸血前は扁平型だった体(写真3)が、吸血後は丸々膨らんだ体になっています(写真4)。もし、体に着いているマダニを見つけたら、無理に引き抜くとマダニの一部が皮膚に残ってしまうことがあるので、自分で取らず、医療機関を受診して除去してもらうことをお勧めします。



写真3

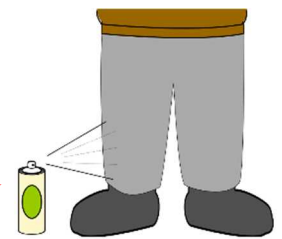


写真4

4. マダニ被害対策

ハイキング等で山林に入ったり、田畑で作業をする場合等は、マダニ被害に遭わないために対策を取りましょう。

①肌の露出が少ない服装にしましょう。半ズボンやサンダル履きは不
当です。



②忌避剤(防虫スプレー)を使うことで完全にマダニ被害を防
ぐことはできませんが、一定の効果はあります。

③休憩する時は、地面に直接座らずレジャーシート等
を敷いて座りましょう。



④帰宅したら、着ていた服は着替えましょう。着ていた
服は洗濯しましょう。



⑤帰宅後は、お風呂に入り、よく体を洗いましょう。ま
た、体にダニが付いていないか確認しましょう。



千葉県衛生研究所
ウイルス・昆虫医科学研究室